

「スケート界のヌレエフ」と評された美しき金メダリストの栄光と孤独——

光輝く銀盤の上にだけ
「本当の自分」がいた

The Ice King

氷上の王、 ジョン・カーリー

監督:ジェームス・エルスキン(『バンターニ/海賊と呼ばれたサイクリスト』)

出演:ジョン・カーリー、ディック・バトン、ロビン・カズンズ、ジョニー・ワイアー、イアン・ロレロ

ナレーション:フレディ・フォックス(『バレードへようこそ』『キング・アーサー』)

2018年/イギリス/89分/英語/DCP/16:9/5.1ch/原題:The Ice King

字幕翻訳:牧野琴子/字幕監修・学術協力:町田樹/配給・宣伝:アップリンク

©New Black Films Skating Limited 2018

NEW BLACK FILMS

DOGWOOF

BBC STORYVILLE

GOLDFINCH ENTERTAINMENT

DOGWOOF PRESENTS IN ASSOCIATION WITH BBC STORYVILLE AND GOLDFINCH ENTERTAINMENT A NEW BLACK FILMS
PRODUCTION "THE ICE KING" A JAMES ERSKINE FILM BASED ON THE BOOK 'ALONE: THE TRIUMPH AND TRAGEDY OF JOHN CURRY' BY BILL JONES
NARRATION FREDDIE FOX FILM EDITOR STEPHEN PARKINSON CO-PRODUCER LUC TREMOULET LINE PRODUCER RACHEL DOCTORS
MUSIC SCORE PERFORMED BY THE BRATISLAVA SYMPHONY ORCHESTRA MUSICAL DIRECTOR STUART HANCOCK EXECUTIVE PRODUCERS ALEX HOLMES
ANNA GODAS EMMA CAHUSAC KIRSTY BELL OLI HARBOTTLE PRODUCER VICTORIA GREGORY WRITTEN, PRODUCED AND DIRECTED BY JAMES ERSKINE

フィギュアスケートを新しい時代へと導くには、大変な努力と勇気、そして誰しもの心に永遠に残るようなインパクトが必要です。ジョン・カーリー氏はまさに芸術の領域を奥深く探り、フィギュアスケートの概念を変えるほどの演技を残して下さいました。

彼なくして、今みなさんが心を震わせて鑑賞している美しいフィギュアスケートは存在しなかったことでしょう。スケートにおける芸術とは何なのかを考え直す機会になる作品です。

—伊藤みどり (アルペールビル五輪銀メダリスト)

ジョン・カーリーは、とすれば「男が華やかに踊るなんてみっともない」と揶揄されるような時代に、芸術としてのフィギュアスケートをその生涯をもって追求し続けた孤高のスケーターである。

私たちは、今もなお多くのスケーターがカーリーと同じような芸術上の葛藤を抱えて氷上に立っていることを、決して忘れてはいけない。

—町田樹 (慶應義塾大学・法政大学非常勤講師)

競技会の中で、あそこまで本格的に氷上でバレエを表現した人は、私の記憶にはいませんでした。ジョン・カーリーは、男子のフリー・スケートングを新しい世界に導きました。

(インタビューより抜粋)

—佐藤信夫 (日本フィギュア・スケート・インストラクター協会会長)

1972年札幌オリンピック、ここで初めてジョン・カーリーという選手を見た。長髪をなびかせて滑るその姿は衝撃的でその恰好良さは劇的だった。その後1976年まで同じ試合で戦ってきたが、彼のコンパルソリーは天下一品で常に僕の目標だった。

これは彼の才能の根源を掘り下げた映画である。プロスケーターとして一緒に滑ることが出来なかったのを誠に残念に思った。

—佐野稔 (フィギュアスケート評論家)

フィギュア金メダリストの彼が、芸術スポーツとしての価値を見出し、ついにはMETに氷を敷きつめ生オーケストラで氷上に舞う彼の芸術スケートを讃え沸きに沸く劇場。無理としか思えない領域へ堂々と進み、成功させるさまが格好いい。先駆者であるがための苦悩や、バレエの基礎が完璧であることが見た瞬間にわかる彼の美しいスケートングも見どころ。

—上野水香 (バレエダンサー・東京バレエ団プリンシパル)

スポーツには様々な戦いがある。相手との戦い、自分との戦い、そして社会との戦い。ジョンの戦いは、スケートを超え、性別を超え、あらゆる壁を壊した。強い意志と感動は歴史をも変える。2020という大きな戦いで私たちは何に挑戦し、何を壊し、そして次世代に何を伝えるのか。ジョンの人生、この作品からの学びを大切にしたい。

—杉山文野 (フェンシング元女子日本代表・NPO法人 東京レインボープライド共同代表理事)

スポーツ界において男性が美しく優雅に表現する事が評価されるという今の常識を作った彼は、当時とはとてもない異端児だっただろう。しかし人並み外れた才能と相反する、人と同じ様に愛を求める姿がとても魅力的に見えた。彼の言う“魂の悪魔”とは彼自身の孤独であり、そして美しさでもあったと感じた作品。

—PELI (Dv / デザイナー)

一人の人生をかけた計り知れない時間と思いが作り出した表現は、現在のフィギュアスケートに大きな影響を与えたとともに、アーティスティック要素の基盤になり、重要な結果として評価され続けることだろう。この作品は、スケートの歴史を知るとともに、フィギュアスケートの本質を理解する上でも貴重な内容になっている。

—松村充 (KOSÉ新横浜スケートセンター専属インストラクター / 1976年インスブルック五輪男子シングル日本代表)

私たちは、アスリートに対して、身勝手な物語をぶつける。その物語に勝手に落胆し、勝手に感動する。消費されていくなかで、選手の身体が痛み始める。銀盤の上に残された孤独を知るとき、これまで自分が向けてきた眼差しの危うさに気づく。

—武田砂鉄 (ライター)

氷上と舞台、ステージや時代は違いますが同じ舞踊の表現者として彼の物語に引き込まれてしまいました。

苦難を越えアイススケートングを大きく変えた彼のセンスと努力、意地に拍手です!

—柄本弾 (バレエダンサー・東京バレエ団プリンシパル)
つかもと だん

ジョン・カーリーの舞は音楽性に溢れ、情緒的で曲の神髄を表しており、彼の踊ることへの愛と類まれな才能で私たちを魅了する。

「牧神…」や「シェヘラザード」を踊る姿は氷上のスレエフというよりニジンスキー。自らのカンパニーのダンサーに恋をされる姿はバランシンのようである。カンパニーへの当代一の芸術家を招くのはバレエ・リュスのようでもある。

彼が居なければ今日のジョニー・ウィアー、羽生結弦の流れはなかったかもしれない。

—魔夜峰央 (漫画家、「バカリロ!」「翔んで埼玉」原作者)

敬称略・順不同

オンライン映画館
UPLINK
Cloud
全国どこからでも最新映画を!

アップリンクが発行する
ライフレイエイジマガジン
web
DICE
www.webdice.jp

5.31(金)公開

全国共通 **UPLINK** カード 好評発売中!

1,500円(税込) ※一般¥1,800のところ

劇場窓口&オンライン限定特典 オリジナルクリアファイル (A5) ※数量限定 ※なくなり次第終了



JR・京王線・小田急線新宿駅 東口徒歩5分
新宿ピカデリー
050-6861-3011

東急本店右側道200m先
UPLINK 渋谷
03-6825-5503

東京メトロ東銀座駅徒歩1分 東劇ビル3F
東劇
03-3541-2711

吉祥寺PARCO B2F
UPLINK 吉祥寺
0422-66-5042